

## EDMCエネルギートレンド トピック ◆ 気になるデータ

# 東日本大震災後初、6年ぶりの貿易黒字

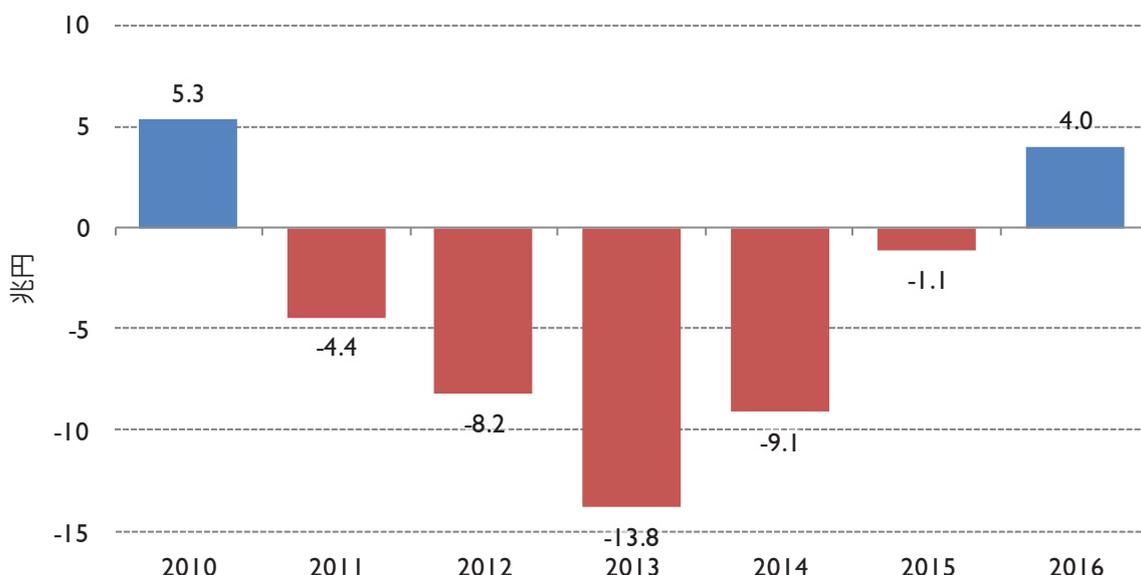
## 原油、LNGなどの価格下落による寄与が大

日本エネルギー経済研究所 計量分析ユニット  
エネルギー・経済分析グループ 研究主幹 | 柳澤 明

## ひとまず退けられた悲観論

2016年度の貿易収支は4兆円の出超と、東日本大震災後初の黒字となった(図1)。大震災後に入超に転じた貿易収支は、2013年度には13兆8,000億円という膨大な赤字を記録さえしていた。日本経済の先行きを考えると貿易黒字はもう望めないとする悲観的な見方も一部にはあったが、連続赤字は5年で途切れた。

図1 | 貿易収支

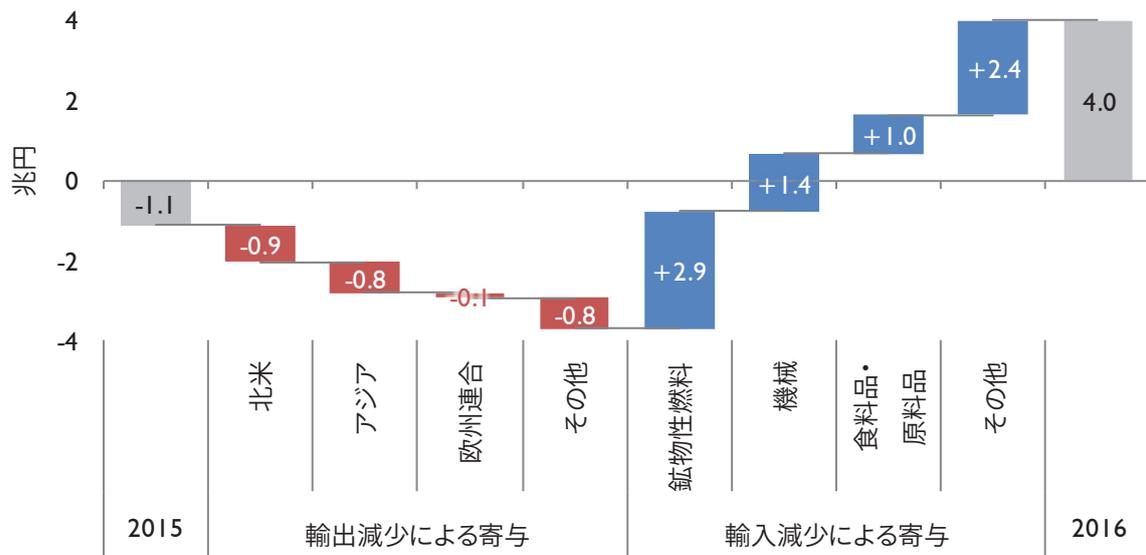


出所: 財務省「貿易統計」

## 黒字化には鉱物性燃料輸入減の貢献大

では、いったい何が、2015年度に1兆1,000億円の赤字であった貿易収支の黒字化をもたらしたのでしょうか? 2015年度から2016年度にかけての変化を輸出は相手国別、輸入は商品別に見ることで、黒字化への寄与を評価したものが図2である。実は、貿易収支の黒字化は、輸出の拡大によってもたらされたわけではない。2016年度の輸出額は—下期は復調傾向を示したものの—北米、アジア向けでそれぞれ9,000億円、8,000億円減少するなど、むしろ赤字化方向に寄与した。輸出額が2兆6,000億円も減少したにもかかわらず貿易収支が黒字化したのは、輸入額が輸出額以上に減少したためである。輸入額が最も減ったのは鉱物性燃料で、その額は2015年度の16兆1,000億円から13兆1,000億円へと2兆9,000億円も減少した。

図2 | 貿易収支とそその変化への寄与(2015年度→2016年度)

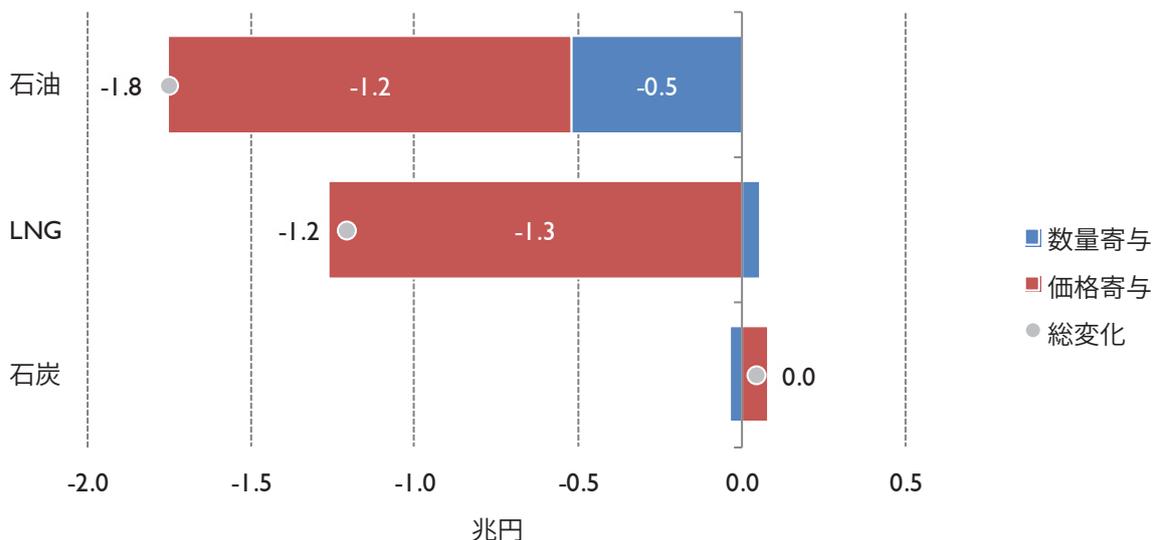


出所: 財務省「貿易統計」

### 鉱物性燃料輸入は、価格低下で2.4兆円、数量減少で0.5兆円減少

貿易収支の黒字化に大きな役割を果たした鉱物性燃料の輸入額減であるが、そのうち石油が1兆8,000億円(60%)を、液化天然ガス(LNG)が1兆2,000億円(41%)を占めた(図3)。相対的に廉価な石炭は、もともとの輸入額が少ないこともあり、寄与は石油・LNGと比べるとわずかであった。

図3 | 鉱物性燃料輸入額変化の要因分解(2015年度→2016年度)



出所: 財務省「貿易統計」より算出

鉱物性燃料輸入額の減少を価格の変化に起因するものと輸入量の変化に起因するものに分解すると、価格要因があわせて2兆4,000億円、数量要因はLNG輸入量が2年ぶりに増加したが原油が前年度比4%減少するなど5,000億円であった。2014年度下期の原油価格の下落がたいへん急速であ

ったため、その後の価格変動は相対的に緩やかな印象を与える。それでも、2016年度において、円高とドル建て価格下落が鉱物性燃料輸入額減少に対して寄与率83%と圧倒的に大きな影響を及ぼしたことは、気に留めておくべき事実であろう。

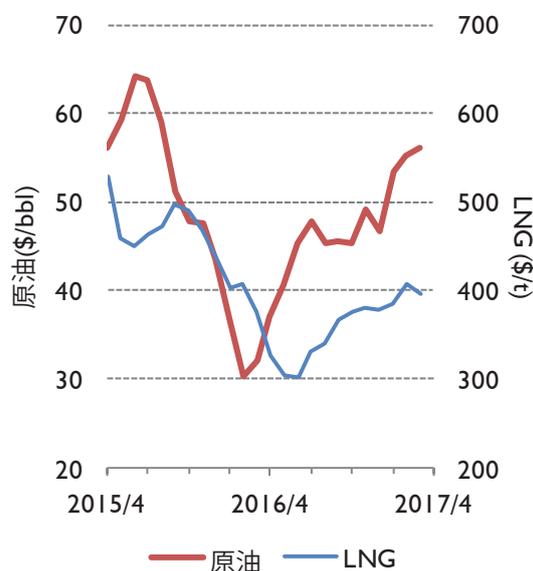
## 続くのか？ 貿易収支の改善

その価格では、原油価格が2016年の石油輸出国機構(OPEC)による減産決定を契機として反発し、目下\$50/bbl台にまで切り上がっている(図4)。LNGも、需給は緩和しているが、日本が輸入するものの多くは原油価格連動であることから、その価格は原油から数か月遅れて上昇に転じている。

こうした価格上昇は、鉱物性燃料輸入額が足元にかけて反転・急増している第一義的な原因となっている。鉱物性燃料輸入額の増加ペースは、輸出(やその他の輸入)を大幅に上回っている(図5)。貿易収支の黒字化に貢献してきた鉱物性燃料輸入が、逆に改善への足かせとなることが懸念される。素朴な試算として、仮に、2017年度の鉱物性燃料の輸入量が2016年度と同じ、輸入価格は2017年3月と同じ(原油: \$56/bbl、LNG: \$397/t、為替: ¥114/\$)という状況を考える。この場合の鉱物性燃料輸入額の前年度比増分は、3兆2,000億円— 2016年度の貿易黒字の8割相当—にものぼる。海外経済の持ち直しなどで今後の輸出拡大が期待されているが、国際エネルギー価格が上昇すれば輸出増の効果も減殺されてしまうことにもなる。悪くすれば、2017年度の貿易収支は、再び赤字に転落してしまう可能性もある。

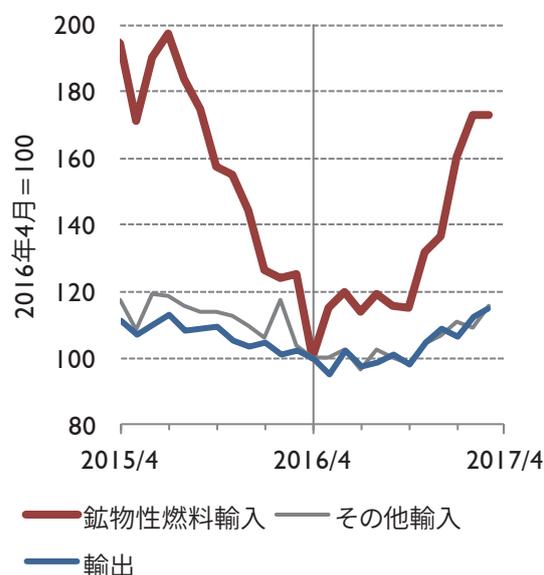
2016年度の6年ぶりの貿易黒字は、それほど盤石なものでもないのかもしれない。

図4 | 原油、LNG輸入価格



出所: 財務省「貿易統計」より算出

図5 | 輸出額、輸入額(鉱物性燃料、その他)



注: 季節調整済み

出所: 財務省「貿易統計」より算出

お問い合わせ: [report@tky.ieej.or.jp](mailto:report@tky.ieej.or.jp)